

看護

しずおか

令和3年度

vol.4

会員数

22,298名

(令和3年11月1日現在)

- 保健師 …… 513名
- 助産師 …… 875名
- 看護師 …… 20,228名
- 准看護師 …… 682名



河口湖までサイクリング

photo 増田 光司

特集1

いい夫婦記念日特集

がんばる看護職夫婦

特集2

熱海市伊豆山土石流災害における 健康支援活動の報告

予定されている研修・行事等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止あるいは変更することがありますので、ご了承をお願いいたします。
ホームページでご確認ください。



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<https://www.shizuoka-na.jp/>

[静岡県看護協会]
お気軽にご利用下さい。



令和3年度 第3回定時理事会報告

■開催日 令和3年10月26日(火) ■会場 静岡県看護協会 第1研修室
出席理事：21名 出席監事：3名 オブザーバー：2名
欠席理事：1名 定款第38条に基づき、定足数12名を満たしていることを確認

1. 協議事項

- 1) 令和3年度4～9月までの中間事業報告について
総務部・教育研修部・事業部・ナースセンター
- 2) 令和3年度中間会計報告

2. 報告事項

- 1) 訪問看護総合支援センター試行事業について
- 2) 第10回静岡県看護学会 基調講演・シンポジウムについて
- 3) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告
- 4) 行政機関・関係団体の役員、委員の就任について
- 5) 令和3年度会費納入状況等について

『令和3年度役員・委員研修会』 を開催しました！



開催日時 令和3年10月16日(土)9時35分～12時35分

会場 静岡音楽堂AOI 7階講堂

講師 公益社団法人 日本看護協会 専務理事 勝又 浜子氏
「看護職の資格活用基盤の強化」
公益社団法人 静岡県看護協会 会長 渡邊 昌子
「看護協会の組織と役割、委員会・地区支部の役割と活動について」
公益社団法人 静岡県看護協会 事務局長 黒田 晶信
「看護協会の定款について」

参加者 69名

内容 コロナ禍において看護職の活躍の場が広く求められたが、看護師等免許保持者の届出制度が法制化されていないために、潜在看護師等の発掘は困難を極めた。災害時や感染拡大等、有事の時に潜在看護師等に連絡が付き、活動に参加して頂けるような届け出制度の法制化が望まれる。日本看護協会は、看護職の資格活用基盤の強化に向けて、すべての看護職の実態把握と継続的研鑽システムの構築により、看護職の量的な面だけではなく、効率的で質が担保された看護提供体制の確立を目指していることなどの取り組みについて知ることが出来た。

お知らせ

看護協会では県からの委託を受け、「准看護師支援のための調査」を実施します。期間は11月末～12月末予定です。皆様、御協力をお願いいたします。

先人に聞く看護の道しるべ

日本一健康な町を目指して

平井 弘美

第二の故郷

昭和48年4月志太郡岡部町の職員となりました。県国民健康保険課の「天の声」に導かれた転職でしたが、保健師を天職と決めていた私は「普通の異動」という気持ちでした。

町は静岡市、藤枝市、焼津市に囲まれた地域にあり、東西に横切る国道1号線の周りが市街地、北部が山間地、南部が田園地帯で農・工・商・住に恵まれた豊かな所です。昔は「丸子」から宇津ノ谷峠を越えた次の宿場町で、その面影が有形無形に残っています。近年は、中山雅史選手、茶の文化施設「玉露の里」などで有名になりましたが、平成20年藤枝市と合併しています。



玉露の里 平成18年撮影

二人三脚で駆け出す

当時の人口は1万1千人弱、母子保健や住民健診を主任保健婦が一人で担っていました。地域の医療機関や農協との連携、保健委員の協力体制など、随分進んでいると感じました。増員効果の期待に応じて農協有線放送に枠を貰い、保健事業のPRを始めました。「1時」が「7時」と聞こえる西部訛りを修正しながらの放送は、気骨が折れました。

町を知り皆さんと仲よくなろうと、機動力を武器に家庭訪問に全力を注ぎました。

地域のリーダーである保健委員のお宅に寄って地域の健康課題を教えていただき、必要のある家庭全戸の訪問を目指しました。昼時間節約のため弁当携行で出かけたので、時には縁側で美味しい漬物を頂くこともありました。

顔が知られると老人会や町内会など地区組織から声がかかり、健康講座や血圧測定・健康相談の形で対応しました。その多くが定例行事として続きました。お茶の繁忙期には、各所の製茶工場から健康相談の要請が入り、血圧計を持って駆け回りました。

こんな中から「脳出血、脳梗塞での死亡率が高い」「動脈硬化症、高血圧症による受診率が高い」「健診受診者が固定化し、脳出血、心筋梗塞は未受診者に多い」ということが解り、わが町では成人病予防対策が重要だと考えました。

年代別定期健診と健康管理台帳の整備

具体策の第一は、健診対象の拡充です。昭和50年から、希望者に加えて40歳以上5歳刻みに65歳迄を対象とする年代別健診をはじめました。突然の検査通知に怒る人もありましたが、広報誌や有線放送などで「定期的な健診の必要」を説明した結果、2年目には健診時期の照会が来るほどに理解が定着しました。

二つ目の対策は、昭和49年度から始めた健康情報管理の

改善です。個人の健診結果と経過を記録した個票を作り、世帯毎に束ねてファイル台帳として管理し、家族全員の健康状態を把握して指導の基礎データとするものです。3千3百冊の台帳は一室を占める量となり、手書きの時代で活用には大きな事務負担が伴いました。

「健康を考える会」の自主活動

5年が経過して健診事業も定着する中で、住民から「自分の健康は自分で守りたい。そういう活動をしたい」との声が届き、保健事業として支援をしました。広報誌での呼びかけに応じた32人により「健康を考える会」が発足しました。行政の支援は多少の資金と会場提供のみで、すべて会員の話し合いで自主的に進められました。野菜の奨励、減塩味噌の自家製造、食品添加物の研究などがはじまり、食生活の改善普及と運動・体育の実践を二本柱に40年余り活動が続いています。

高齢化社会の入り口の時代

昭和57年「老人保健法」が制定され、翌年から「ヘルス事業」という名称で「健診・健康教育・健康相談・機能訓練・家庭訪問」の5項目に重点を置く国の成人保健事業がはじまりました。この政策によって交付金など財源上の助成や保健機関・団体の支援が得られるようになり、町の保健事業を充実することができました。

昭和60年「住民健康管理台帳」をコンピューター処理に移しました。厚生省の「健康管理システム開発プロジェクト」に応募して特別調整交付金により出来たもので、全国初の事例です。健診等記録の記入のほか対象者の検索、連絡・通知も迅速になり、所期の健康管理システムが実現しました。

3年目から住民健診の体制を従前の血圧測定、尿検査などの基本項目に血液検査や心電図検査を加え、高度化されました。会場を公民館から実施機関である医師会館へ移し、バスでの送迎、朝食の牛乳・パンの提供もされました。

昭和60年度から県地域保健強化事業の対象地区に選ばれました。保健所の総力で動脈硬化による脳血管疾患や心筋梗塞を予防するための個別診断、指導観察、健康教室が行われ、個人の状況に対応した丁寧な保健指導が行われました。これらの健康対策事業の効果は、基本検診、胃がん検診、婦人科検診などの受診率が高くなることに現れ、また、住民の健康に対する意識が高まったことも明らかでした。

この経過を日本公衆衛生学会で発表し「地域保健」62年3月号に掲載しました。岡部町のことが知られ、厚生省や全国の市町村からの調査・視察がしばらく続きました。



特集
1

／ いい夫婦記念日特集 ／

がんばる看護職夫婦



11月22日は、いい夫婦の日です。今回は、夫婦で看護職として働く4人の方に、勤務体制や家族構成、ふたりで働き続けられる理由(家事分担や勤務調整など)について執筆してもらいました。

静岡医療センター

鈴木 浩太
鈴木 愛子

勤務形態 私:3交代
妻:育児休暇中

家族構成 私、妻、長女(3歳)、長男(1歳)



私は妻と娘と息子の4人で暮らしています。妻は、現在育児休暇中で2人の子どもをみながら家事をこなし忙しい日々をおくっています。私は集中治療室で3交代勤務のため、家にはいない時間が多いですが、休日は子どもと遊び、家の掃除や食事の後片付けをするようにしています。現在、コロナ禍であり収束が見えない中で集中治療室においても、コロナ感染者が重症化し人工呼吸器管理となった方の看護をすることもあり忙しい日々をおくっています。その中で、仕事から家に帰った時の妻の料理や、娘が笑顔で迎えてくれること、朝は家の窓から「いってらっしゃい!頑張ってるね!」と3人で手を

振って見送ってくれることがとても励みになっています。妻も集中治療室勤務だったので、悩みにも共感してくれるので助かっています。コロナ禍で医療従事者にとって大変な日々が続きますが、夫婦で力を合わせて現状を乗り切りたいです。

静岡県立こころの医療センター

石川 海智
石川 聖加

勤務形態 夫:2交代
私:2交代

家族構成 夫、私



私達は同じ病棟の先輩・後輩という形で知り合いました。現在は違う病棟に配属されていますが、同じ病院・職業で働いていることもあり、お互いの仕事の大変さを理解し合っています。家事は細かく分担するのではなく、自然と時間がある方が積極的に行うようになりました。やってもらうことを当たり前思わず「ありがとう」と感謝の心を伝えることを忘れずに、お互いを思いやりながら仕事と家事を二人で協力して両立できています。一方で、家にいるときは、仕事モードにならないよう仕事の話はなるべくしないことを心掛けています。家ではゲームや映画鑑賞などの趣味を楽しみ、仕事と休息のバランスを保つことも大切だと感じています。また、二人が出会い、結婚し、仕事を続けられるのは、職場の上司・先輩・同僚の皆さんの支えがあるからです。周りにも常に感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思います。

中東遠総合医療センター

芝田 圭史
芝田 瞳

勤務形態 夫：日勤（月3～4回の待機）
私：育児休暇中

家族構成 夫、私、長男（9歳）、次男（6歳）、長女（1歳）



夫は現在手術室勤務、私は病棟勤務をしていましたが、今は育児休暇中です。核家族のため、育児休暇前は夫婦で夜勤や休日勤務が重ならないようなシフトを組んで頂いて働くことができました。同じ院内にいて連絡が取りやすく、早く業務を終えた方が子ども達の迎えに行き夕飯を作るなど、臨機応変に対応していました。夫婦揃った休みの日は少ないですが、長男が少年野球を始めたことをきっかけに野球が家族の趣味となり、時間が合えば家族で試合の応援やキャッチボールをして、コミュニケーションをとっています。

看護師夫婦であることから、家での話題は自然と病院のことが多くなるのですが、嬉しいことに子どもが「僕も大きくなったら病院で働きたい！人を助ける仕事がしたい！」と言ってくれて励みになります。長女が生まれて、さらに騒がしい日々となりましたが、これからも助け合い、子どもとの時間を大切にしながら、楽しく過ごしていきたいです。

聖隷浜松病院
浜松医療センター

山本 将太
山本 直子

勤務形態 夫：日勤（当直1～2回／月）
私：日勤（夜間・休日呼び出し2～3回／月）

家族構成 夫、私、長男（9歳）、次男（5歳）、
犬1匹、いろいろな昆虫



お互い別の急性期総合病院で、夫は内科混合病棟で看護課長として、私は手術センターで副看護長として勤務をしています。家事は2人とも苦手分野のため、掃除はロボット掃除機（ルンバ）、料理は電気圧力鍋（クックフォーミー）にお任せです。私たちは結婚して10年以上が経ちますが、お互いの看護に対する思いを尊重しながら、両親の支えもあり大好きな看護の仕事を続けています。まだ育児に追われていますが、子どもたちが体調を崩したときには看護休暇などを活用し、お互いに仕事を調整しながら助け合っています。我が家は、子どもたちが大好きなカブトムシ、クワガタなどの昆虫を幼虫から育てていて、年中虫かごが並んでいます。とてもにぎやかで楽しいです。家に帰って家族がそろい、みんな

で過ごすのがホッとすると同時に「大変なことは忘れてまた明日頑張ろう」という気持ちになります。家族で過ごす時間を大切にこれからも明るく元気に頑張っていきたいです。

熱海市伊豆山土石流災害 における健康支援活動の報告



7月に発生した熱海市伊豆山地区土石流災害の被害は甚大で、数ヶ月経過した現在も災害復興、被災者の生活再建支援は続いています。その中で、発生直後の混乱期から被災者支援にあたった災害支援ナースや県内保健師等健康支援チームの活動について報告します。

熱海市土石流災害の概要

令和3年7月3日(土)熱海市伊豆山地区は、大雨に伴う土石流発生により、被災範囲延長約1km最大幅約120m、死者・行方不明者27名、中等症者3名、避難者572名の甚大な被害を被りました。同日熱海市と静岡県は災害対策本部を設置、直ちに現地に出発すると共に自衛隊や緊急消防援助隊に災害派遣要請を行いました。現地には、熱海市役所を拠点に、県警や広域緊急援助隊、県内自治体(県・市町)、更に、災害派遣医療チーム・DMAT・災害派遣福祉チーム・DWAT・災害派遣精神医療チーム・DPAT・日赤・災害ボランティア・当協会他、様々な外部組織が活動に入り、互いに連携を図りながら活動をしました。なお、避難所が観光都市熱海の特性を生かし市内のホテルに設置されたのは、今後の避難所運営に影響する特筆すべきこととなりました。

健康支援チームの活動

7月5日(月)から地元熱海市を始め、熱海保健所、伊東市、その他近隣の保健所や市町保健師が毎日4～5名避難所住民のケアに入り、翌週以降は熱海市から県への要請により県と市町の保健師及び管理栄養士の派遣を交代制(2～8名編成)で行うことになり、主に健康不安を抱えた方への支援を実施しました。同チームの活動には延327名が従事し9月17日(金)をもって終了しました。



地区の訪問支援



朝のミーティング

支援者の声

ホテル避難所は、感染症の蔓延防止や暑さの回避、プライバシーの確保には好条件だったが、反面、部屋にこもりがちになったり、家族だけで過ごすのがストレスとの声もあった。求められる支援内容も様々で、必要な人に専門的支援が届けられるようサービスの調整も必要だった。

ホテルには、長くても1ヶ月しか居られず、次のホテル、県営住宅、仮設住宅など引っ越しを繰り返す必要が生じ、「先のことを考えられない」と不安な思いを訴える方も多かった。

避難した住民が自宅に戻っても生活用品が壊れていたり、生活道が遮断されたままでバスも止まり、介護サービスや銭湯が使えなくなる等、災害前とは生活が大きく異なる状態だった。各被災者の個々の状況に合わせて長期にわたる生活再建支援が必要と感じた。

コロナ禍の中、現地スタッフは休日返上でワクチン対応や通常業務もこなしていた。より多く支援したかったが、コロナ緊急事態措置によりチーム編成を縮小せざるを得なかったことが悔やまれる。

＊本稿は、静岡県災害対策本部報及び西部健康福祉センター報告を参考に、県庁健康増進課増尾保健師他皆様の協力で作成しました。

災害支援ナース活動を終えて

聖隷沼津病院 竹村 香恵



第一部隊として7月6～9日、500名弱の避難者がいるホテルに派遣され、3人チームで夜間の健康相談対応を行いました。被災後3日目のため、全避難者の情報把握が出来ておらず、食事の際に安否確認し、要経過観察者を様々なチームで分担しました。

館内に手指消毒と検温装置はありましたが、全員のマスク装着が徹底されず、支援物資場所は密になり、感染防止の啓発活動をしました。また、部屋割りはずしも家族単位ではなく、福祉避難所に入るべき要介護の方がおり、支援が必要な避難者が区別されていない状況でした。避難所がホテルという環境は、発熱者発生時の隔離対応がしやすく、避難者のプライバシーは守られますが、部屋の鍵を開けてくれないと健康状態の把握や所在確認などが出来ず、介入しにくい面にも気付かされました。相談内容は、環境変化が影響した血圧上昇・便秘・不眠・体調不良などが多く、今後の生活の不安なども聞かれました。また、常備薬や義歯などの生活に必要な物を持ち出せず、処方依頼や食事が摂れないなどの相談もあり、医療的介入や観察・アセスメントの重要性を実感しました。さらに、相談者の情報共有や継続的連

携のために、記録類の整理に苦労しました。

災害は突然に発生し、被災状況で様々な問題が次々と起こりますが、今回の貴重な経験を活かし、もっと視野をひろげた対応が考えられるようになりたいと思いました。



朝の引継ぎ



支援物資

災害支援ナースの活動と感想

富士宮市立病院 岩間 美樹



私は、7月20日～23日、災害支援に行かせて頂きました。災害サイクルでは、亜急性期であり、この時期はメンタルケアが必要だと思いながら避難所のホテル「金城館」へ入りました。ホテル内では、健康相談室の業務が災害支援ナースの主な役割で、血圧測定・創処置・お弁当配達・各種相談・対応した事への記載等を行っていました。

活動当日は、前ホテルから158名の被災者が当ホテルへ移動し、新設された健康相談室の表示方法を考え、文書の作成を行いました。また、私はリーダーとして、他職種との情報共有のため合同ミーティングに参加し、意見交換を行いました。



1日20件程の相談があり、被災された方々が、この頃より発災当時の話をされました。急性期に、表出できなかった当時の状況を、個々の思いで訴えてくださり、私は「答えを出すのではなく寄り添うだけで良い」と実感できました。支援前

項目	7/20	7/21	7/22	7/23
血圧				
体温				
症状				
その他				

に漠然と考えていたメンタルケアは、支援が終わる頃になり明確になりました。被災者に寄り添い、影となり、その自立を助ける事、今回私に課された災害支援ナースとしての役割だと感じました。貴重な体験に感謝します。

◀ 岩間さんが、PCを持参し作成した健康管理表

10月29日(金)「災害支援ナースの交流会」が開催されました。

犠牲者の御冥福をお祈りすると共に、被災された方々が一日も早く元の生活に戻ることを願っています。支援者の皆様、お疲れ様でした。

人の一生を支える看護職

看護職の仕事は傷病者や妊産褥婦の療養上の世話をしたり、診療の補助を行うことですが、病院や診療所だけでなく、訪問看護ステーションや福祉関連施設、企業、行政などの活躍の場は広がり、看護職に対する期待も大きくなっています。そこで、県内の様々な場所で働く看護職を紹介します。

地域から頼られる訪問看護師を目指して



訪問看護ステーションほほえみ

渡辺 澄子

幼い頃からの夢であった看護師になり夢中で働いた15年。もう少し患者様と向き合いたくて飛び込んだ訪問看護、気が付くと10年が過ぎていました。

訪問看護を始めた頃、癌末期の壮年期の男性からケアを拒否され心が折れ「自分には無理!辞めたい!!」と落ち込んでいた時、当時の所長に言われた「3年!3年頑張ってみたら?」という言葉に励まされ踏ん張って続けていると、しばしば療養者や家族から「いつも明るいね。元気だね。あんたが来ると

部屋が明るくなるよ。」と言われるようになり、その言葉は私の心を癒し訪問看護にやりがいを感じるようになりました。

高齢化率が28.4%の今日、在宅は治療の場となり医療ニーズの高い療養者が増え、訪問看護への期待とともに高度な看護の知識や技術が求められています。こうした緊張状況であっても、療養者や家族が喜ぶ看護ができた時の誇らしい気持ちを忘れず、療養者の心のケアができる訪問看護師でありたいと思います。

小児がんを経験したこどもたちを大人になるまで支えること



静岡県立こども病院

加藤 由香

私はがん化学療法看護認定看護師として、小児がんのこどもや家族に関わっています。小児がんは飛躍的な治療進歩により、全体の70~80%が完治するようになりました。反面小児がんを経験したこどもたちの晩期合併症や成人移行が問題になっています。「小児がんになってしまったことは、不運だけど不幸じゃない。あなたのために何十人という人が病気を治そうと必死になっている。主役はあなただよ」そうこどもたちに伝えながら、がん治療という過酷な

治療の伴走者として、日々関わっています。成長発達途上のこどもたちに対するがん治療は、治療後の成長発達にも影響を与えます。当院では「長期フォローアップ外来」を開設して、治療が終了したこどもたちの自立/自律支援を行っています。今年は、当院で治療したサバイバー2名が、東京オリンピック聖火ランナーを務めたという嬉しいニュースもありました。これからも、小児がんのこどもたちと一緒にがんばります。

温かい援助を目指して



介護老人保健施設
まんさくの里

小出 まみ

私は、地域で在宅支援できる職場で働きたいと思い、現在の職場を選びました。私が働く介護老人保健施設では、多職種と連携を図り、利用者様の在宅復帰支援やご家族の介護負担軽減のサービス提供や看取りケアを行っています。病院と在宅の中間施設ですが看取りの場となる事も少なくありません。誤嚥性肺炎を繰り返す中で、入院するより過ごし慣れた当施設で最期まで過ごすことを望まれた利用者様がみえました。桜の花を見せてあげたいとい

う思いから、本人用の桜を用意しました。日々、桜の話題で会話を楽しみ、一緒に綺麗な桜の花が見られたときは、うれしく感じたのを覚えています。とても穏やかな最期でした。私たちにできることは何かを常に考えながら、利用者様の立場に立って考えることができる看護師になりたいと思います。そして、温かい援助ができるよう日々の関わりを大事に利用者様と過ごしていきたいです。

認定看護管理者教育課程受講者からのメッセージ

認定看護管理者教育課程ファーストレベル(6月開講)を受講して

しずおか日赤訪問看護ステーション 佐藤 紀子

私は訪問看護ステーションで、リンパ浮腫セラピストとして活動しています。リーダーとして、チームワークを引き出す関わりに難しさを感じ、研修に臨みました。学びから、自分の価値観、感情や思考の傾向と向き合うことになり、苦しくも自己を知る貴重な機会となりました。研修終了後、職場のスタッフから「提案や意見の説得力と積極性が出て頼もしくなった」と声をかけられ、チームへ効果的な働きかけができるようになった手ごたえを感じ始めています。

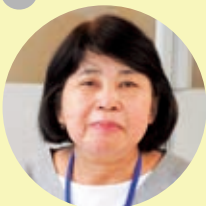


認定看護管理者教育課程セカンドレベルを受講して

島田市立総合医療センター 奈木 志津子

医療ニーズが多様化する中、質の高い看護の提供を保证するため、看護管理者には専門的な知識と技術、対人力、俯瞰力、概念化する能力が求められます。病棟師長となり5年、自分の看護管理は真の課題を捉え解決に導くことができているのか、スタッフ一人ひとりの成長を支援できているか、日々模索をしていました。そのため、自部署の問題解決や人材管理スキルを身につけたいと思い、セカンドレベル研修を受講しました。開講前日にCOVID-19の感染拡大により緊急事態宣言が発令され、急遽リモートとなりましたが、対応力も身につくと前向きに捉え、研修に臨みました。幸い、研修半ばから集合形式となり、それぞれの研修の良さを体験できました。講義内容は、著名な先生方からヘルスケアシステム論、組織管理論、人材管理、資源管理、質管理について講義を受け、新たな知見を得ることができました。どの講義でも看護管理者は医療情勢と社会情勢を知ることの大切さに触れており、これからの時代、広い視野を持ち、地域に向けたマネジメントも必要と痛感しました。統合演習では、部署のあるべき姿についてグループワークを行い、検討することで本質を捉える大切さと難しさ、論理的な思考を学びました。34日間のセカンドレベル研修で得たものは、看護管理者に必要な知識、技術、態度といったスキルだけでなく、同じ志をもつ28名の研修生との出会いは、これから管理を行う上でかけがえのない財産となりました。研修での学びを資源として活用し、看護の質の向上に努めていきたいと思っています。

職員紹介



看護協会には4月から勤務しています。主に学術研究推進委員会を担当しており、現在、令和4年1月15日に開催する第10回静岡県看護学会の準備に奮闘中です。「withコロナ」対応の、ハイブリッド形式で開催しますので、多くの方にご参加いただき、看護研究の良さをアピールできたらと思います。

中村さつき



訪問看護総合支援センター試行事業スタート

日本看護協会より「訪問看護総合支援センター試行事業」を、静岡県看護協会と静岡県訪問看護ステーション協議会が共同で受託し活動をスタートしました。訪問看護総合支援センターは、3つの目的、7つの機能を充実させ、訪問看護に係る様々な訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点として想定されています。静岡県においては、訪問看護ステーションの人材確保、訪問看護の質の向上のためには、訪問看護ステーション管理者の役割が重要と位置づけ「訪問看護管理者育成プログラム作成」を主な取り組みとしました。そこで、訪問看護ステーション管理者経験者を採用し、活動を進めています。訪問看護ステーションの皆さんの事業所に届けたいと思います。

【3つの目的】

経営支援

人材確保

訪問看護の質の確保

【7つの機能】

- 1) 事業所運営基盤整備支援
- 2) 看護事業所の開設支援

- 3) 潜在看護師・プラチナナース等の就業及び転職促進
- 4) 人材出向支援
- 5) 新卒看護師採用に向けた取り組み

- 6) 訪問看護に関する情報分析
- 7) 教育・研修実施体制の組織化

「訪問看護管理者育成プログラム」がんばって作成します！



担当者 長谷川 厚子

令和3年度も 訪問看護出向研修支援事業 実施しています！

すずかけヘルスケアホスピタル 片山 昌平



【多職種とのカンファレンス】

訪問看護出向研修支援事業で「訪問看護ステーションいわた」に、3ヶ月間出向しました。訪問看護の経験がなくはじめは緊張しましたが、ステーションの雰囲気明るく、すぐに馴染むことができました。病院を退院した患者が自宅で生活できているのか気にかけていましたが、その様子を知る機会が今まではありませんでした。今回の事業に参加して、患者の退院後の生活を知ることができ、病院での退院支援が活かされていたこと、逆に不十分なところを知ることができました。

病院看護師が、患者の退院後の生活における課題に対してどのような支援をしたか、その結果はどうだったか、退院前に情報を共有することが円滑な継続看護を可能にすると理解できました。今回の出向事業で学んだことを病院スタッフに伝達し、情報共有が活発化できるように取り組んでいきたいと思っています。

ナースセンターだより

お知らせ

※相談・研修は、看護職であればどなたでも受けられます

1 移動相談（予約不要）

県下16のハローワークに看護職の就業相談員が出向き、就業についてご支援します。お近くのハローワークにお出かけください。下記の日程で実施、ハローワーク浜北以外では求人施設が参加するミニ相談会も実施しています。

開催時間：ホームページで確認してください（焼津・掛川：午後）

ハローワーク	下田	伊東	三島	沼津	富士 (富士フロンテ)	御殿場	清水	静岡	焼津 (BiViキャン)	島田	掛川	磐田	浜松	浜北	細江	湖西 (新居地域センター)
12月		21日	7日	21日	14日		21日	8日	3日		6日		8日	17日		21日
1月	25日			18日	11日	25日		12日	7日	25日		18日	12日		25日	

2 研修

研修名	会場	実施日	対象
再就業研修	静岡県看護協会	2月1日(火)・2日(水)・3日(木)	再就業を考える看護職
再就業者フォローアップ研修	静岡県看護協会	1月28日(金)	ナースセンターの紹介で再就業した看護職

3 復職支援、就業継続のために

受講料無料です。お気軽にお近くのナースセンターへご相談ください。

① 復職支援用研修e-ラーニング

- 最新の医療知識(10コース 73テーマの講義と8テーマのチェック動画)をご自宅で学べます。
- 看護技術を確認してお仕事をスタートしませんか？
- 新人看護職員の方も活用してください。

② 看護技術演習

- 採血、口腔・鼻腔吸引、手洗い、筋肉注射等の演習です(日程はホームページでご確認ください)。

『ナースのお仕事フェア』を開催します

転居・退職予定の方、求人施設の担当者に直接相談してみませんか？
ナースセンター職員も会場でお仕事探しをサポートします。

日程	会場	場所
令和3年12月11日(土)	伊東市観光会館 第1会議室	伊東市和田1-16-1
令和4年 1月20日(木)	BiVi藤枝 セミナー室	藤枝市前島1丁目7-10
2月12日(土)	静岡県看護協会 研修室	静岡市駿河区南町14-25
2月26日(土)	三島商工会議所 4F会議室	三島市一番町2-29
3月 5日(土)	浜北文化センター 大会議室	浜松市浜北区貴布祢291-1

*時間・詳細については決定次第、ホームページでお知らせします。

*新型コロナウイルス感染症感染状況により中止する場合があります。

ナースセンターは悩み事相談電話窓口を設置しています

平日 9:00~16:00

054-202-1780 / 新人専用の悩み相談 090-2183-8734

☑ メールでも相談できます ▶ nayamishido@za.tnc.ne.jp

はなしてみよう

(公社) 静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

本 所: TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所: TEL 055-920-2088 FAX 055-928-5037

西部支所: TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510

下田相談所(毎週木曜日9:00~16:00): TEL 080-2650-0327

天竜相談所(毎週火曜日9:00~16:00): TEL 080-2650-0237

看護のニューノーマル(新しい日常)を模索する -生活・地域を守る、つなげる-

開催日 令和4年1月15日(土)10:00~16:30

開催場所 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ10階
(静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号)

開催形式 ハイブリット形式 会場参加(120名)+オンライン視聴

基調講演 看護のニューノーマルに期待される私たちの実践

～新型コロナによって再認識された看護の専門性とその未来～

鈴木 みずえ氏(国立大学法人 浜松医科大学医学部看護学科臨床看護学 教授)

参加費

区分	事前申込	当日申込
会員	2,750円	4,950円 (会員証の提示が必要)
非会員	4,950円	5,500円
看護学生(看護師免許未取得)	550円	550円

参加申込 静岡県看護協会ホームページから申し込みください。

(当日参加は、抄録集がない場合がありますので、なるべく事前に申し込みください)

申込期間 令和3年11月1日(月)～

12月17日(金)

先着順です。会場収容人数になり次第、会場参加申し込みは締め切りとさせていただきます。

問合せ先 教育研修部 054-202-1760

医療安全情報
2021年度 第4弾

医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

院内での転倒転落予防対策 Part2

●ベンゾジアゼピン(BZ)系薬剤(睡眠薬、抗不安薬)によるリスク

「入院中に発生した転倒・転落による頭部外傷に係る死亡事例の分析」提言5

●転倒・転落リスクの高い患者への、ベンゾジアゼピン(BZ)系薬剤をはじめとする向精神薬の使用は慎重に行う



ベンゾジアゼピン系薬剤は、睡眠薬や抗不安薬の代表的な薬剤です。

※高齢者では薬剤の感受性が高まり、代謝や排泄が遅延するため、健忘や認知機能障害、せん妄などの副作用が現れやすい

※向精神薬との多剤併用は転倒・転落リスクが高くなる

転倒転落のリスクが高まりますので、できる限り使用を控えることが望ましいとされています。

せん妄に対しては、薬物対応の前に原因の除去や、早期離床・環境整備等の非薬物対応に努めることが望まれます。

参考 医療事故調査・支援センター 医療事故の再発防止に向けた提言 第9号

★クイズに答えると、抽選で10名様にQUOカードが当たる!★



問題

訪問看護総合支援センター
試行事業がスタートします。
主な取り組みとは、何の
プログラム作成でしょうか?

「Vol.3」のクイズの答え: 24施設 40名

当選者

妹尾 恵美子様・新村 小夜香様・かとしん様・
ビツビ様・佐塚 章世様・はなちゃん様・工藤 淳子様・
もかみかん様・なおちゃん様・和泉 啓子様

応募方法

葉書又はメールで①答え②氏名③所属④電話番号⑤〒⑥住所⑦看護しずおかの感想⑧看護協会へのご意見をお書きのうえ、下記宛にお送り下さい。正解者の中から、抽選で10名の方にQUOカード(1000円分)を差し上げます。当選者は「Vol. 5」に掲載します(ペンネーム可)

■葉書の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会総務部 看護しずおかクイズ係

■メールの宛先

kango@shizuoka-na.jp
又はQRコードから



応募締切日 12月24日(金)

読者の
の
広場

新人職員のいきごみ、
昔を思い出します。がんばれー!!

熱海での災害は同じ静岡県内の
こととして凄く気になっていました。
看護職が災害の現場で活躍している
実際を知ることができて、これからの
仕事の励みになりました。